

# KG-84A をシスコ シリアル インターフェイスに接続する方法

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ケーブル](#)

[赤いケーブル](#)

[黒いケーブル](#)

[KG84A/Avanti 運用コンフィギュレーション](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

この資料はコーデックス LSI 24/24 および Avanti 2200 シリーズを使用して Sun シリアルポートに KG-84A ケーブルおよび Ciscoゲートウェイを接続することの構成情報が同期モデム含まれています。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

この文書の情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- KG-84A ケーブル
- Avanti 2200 シリーズ 同期モデム

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [ケーブル](#)

このセクションはコーデックス モデムを使用して Cisco が Sun シリアルポートに KG-84A を接続するのに必要なケーブルを記述します。Cisco ポートは同期 接続を実行して、Sun ポートは非同期です。

## 赤いケーブル

RS 232 側		KG 側 ( レッド J3 コネクタ ) メス型	
ピン留め	名前		ピン番号
1	フレームグラウンド		2
2	TD	--->	17
3	RD	<---	6
4	RTS	--->	11
5	CTS	<---	19
6	DSR	<---	51
7	シグナル グラウンド		1 + 9 + 18 + 46
8	DCD	<---	40
20	DTR	--->	38
次の 2 つは同期ケーブル ( Cisco への KG ) のために必要です:			
15	Tx Clk		15
17	Rx Clk		20

注 :

- KG-84A は場合の多数のために差動 入力を使用します。ピン 9、18、および 46 が KG コネクタのピン 1 に結ばれることは ( 上に示されている ) 絶対必要です。ピン 9、18、および 46 はある特定の場合作の ( 未使用 ) 反対側です。また、KG 側のピン 7、22、41、か 53 を接続しないで下さい。これらは差動増幅器出力で、開いた回線に去る必要があります。
- KG と Sun シリアルポート間の非同期 リンクのための 15-15 および 17-20 の接続をケーブル接続しないで下さい。

## 黒いケーブル

RS 232 側		KG 側 ( 黒い J2 コネクタ ) メス型	
ピン留め	名前		ピン番号
1	フレームグラウンド		2
2	TD	<-- --	15
3	RD	--- >	13

4	RTS	<- --	29
5	CTS	--- >	27
6	DSR	--- >	51
7	シグナルグラウンド		1+12+28+35+53+22+20+30+18
8	DCD	--- >	34
20	DTR	<- --	17
同期操作のためのクロック:			
15	Tx Clk	--- >	21
17	Rx Clk	--- >	19
24	Ext TC	<- --	32

## KG84A/Avanti 運用コンフィギュレーション

このセクションに KG-84A および同期リンクを形成するために Avanti モデムを接続するための作業ケーブル/設定の要約があります。2つの Sun シリアルポートを下記の図に従って接続するときコンフィギュレーションおよびケーブルは機能するために示されました。関係情報は下記の同期回線のためです。

Sun <==> KG-84A <==> Avanti モデム <==> Avanti モデム <==> KG-84A <==> Sun

RS-232C		レッド側、KG-84A
1		2
Tx	2	17
Rx	3	6
RTS	4	11
CTS	5	19
DSR	6	51
Gnd	7	1-9-18-46
DCD	8	40
TXC	15	15
RxC	17	20
DTR	20	38
RS-232C		レッド側、KG-84A
1		2
Tx	2	15
Rx	3	13

RTS	4	29
CTS	5	27
DSR	6	51
Gnd	7	1-12-20
DCD	8	34
RxC	17	19
DTR	20	17
	24	32

KG-84A のフロントパネル設定は次の通りです ( スイッチ設定をデコードするため、ユニットの KG84A ドキュメントが内部フロントパネルを参照して下さい ):

パラメータ	設定
clock	1 -一方 2 で-反対側の...
データモード	2
データレート、Rx	B4 ( 適切な値への変更 )
データレート、Tx	B4 ( 適切な値への変更 )
ステップ Pulse Intvl	1、+0
Intfc ( インターフェイス )	1
同期化。モード	5
Tty モード	1
データ長	同期化 ( 適切な値への変更 )
Comm モード	1

Avanti モデムはキャビネットの中の一連のディップスイッチを備えています。各オプションの詳細についてはモデム解説書を参照して下さい。いくつかのこれらのオプションは同期リンクの正しい動作のために必要です; 他は個々の必要に適するために変わるかもしれません。これらのスイッチは次の通り設定されます:

スイッチ	設定
S5	HD の ( ない RTS 設定 )
S6	CC Int TC
S7	2 ( KG および Sun 設定への一致速度 )
S8	電力レベル = -30 kb ( スイッチ 6 は、別様に設定されるかもしれません ) CTS 遅延 = 0 ( 4 ) スイッチ
S9	Med. 範囲 ( これらの設定は他のアプリケーションのために異なるかもしれません ) 下位 4W
イコライザジャンパ: クライアントの	

## 関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)